

2022 年コミュニティ・ヘルス研修会のお知らせ
「緊急時の保健医療と地域住民参加型の保健活動」

1. 目的

地域住民参加型の保健活動に必要とされる知識の向上をはかり、今後地域保健事業への派遣を検討している国際救援・開発協力要員の育成に役立てる。

2. 目標

- ① 緊急および非緊急の状況下で、人々の健康状態の維持向上を目的として現地赤十字・赤新月社のスタッフと協同し支援提供する方法が理解できる
- ② ターゲット地域の選定、脆弱なグループ（5 歳未満の子供、女性、高齢者など）の特定のニーズに留意し、活動の優先順位決定の仕方が理解できる
- ③ コミュニティグループ（コミュニティリーダー、女性グループ、保健スタッフなど）や保健省、NGOs、UNs などの利害関係者間の円滑なコーディネーションの実施方法が理解できる
- ④ IFRC やその他の国際的な機関が開発・報告している手法などを用いて根拠に基づく計画立案（予算含む）の仕方が理解できる
- ⑤ 活動のモニタリング、評価の方法が理解できる。
- ⑥ 研修参加により自身の課題に気づき今後の知識向上に役立てることができる。

3. 研修日時

2022 年 7 月 23 日（土）9：00～17：00

4. 研修会場

オンライン開催 Zoom 使用予定 ※リンクは参加者決定の後お知らせいたします。

5. 研修対象者

以下の要件を満たす者

- ① ~~海外派遣経験者かつ~~地域保健活動に参画を希望する者でコミュニティ・ヘルス要員トレイニーレベル（TOR_CH 要員トレイニー参照）
- ② PCM 研修参加歴のあることが望ましい
- ③ 参加者の職種、海外派遣形態および回数は問わない

6. 募集人数

20 名程度 ※応募者多数の場合は、コミュニティ・ヘルス専門分野研究会で書類選考を行う。

7. 講師／ファシリテーター、スタッフ（※はコミュニティ・ヘルス専門分野研究会メンバー）

※日本赤十字社医療センター 看護部看護師長 苫米地則子

※日本赤十字社医療センター 看護師 黒川寛子

※日本赤十字愛知医療センター名古屋第二病院 看護師長兼国際医療救援課長 菅原直子

※大阪赤十字病院 看護師係長 川瀬佐知子

※日本赤十字社和歌山医療センター 看護師 小笠原佑子

※福岡赤十字病院 看護師長 橋本香織

※熊本赤十字病院 看護部兼国際医療救援部看護師 今村尚美

日本赤十字社本社 企画研修係

8. 研修スケジュール

研修プログラム参照のこと

9. 使用言語

日本語 ※資料は英語含む

10. 事前課題

◎は必須、ほかは可能な限り受講のこと。

IFRC learning platform より実施、または資料読むこと

- ◎ Emergency Needs Assessment (1 時間)
- ◎ Public Health in Emergencies (2 時間 30 分)
- ◎ Introduction to Monitoring & Evaluation (4 時間)
- ◎ Introduction to eCBHFA(30 分)
- ◎ Community-Based Health and First Aid (CBHFA) eModule 1: Introduction (20 分)
- ・ Implementation guide for community based health and first aid (CBHFA) in action
https://www.rcrc-resilience-southeastasia.org/wp-content/uploads/2016/09/145600_Implementation-guide-CBHFA-in-action_en_LR.pdf
- ・ Planning Monitoring Evaluation and Reporting (PMER) Toolkit for Community Based Health and First Aid
- ・ Secondary Data Review and Analysis (2 時間)
- ・ Monitoring and Evaluation Planning eTraining (6 時間 25 分)
- ・ Epidemic Control for Volunteers
- ・ Public Health: Mental Health and Psychosocial Support (60 分)
- ・ Public Health: Nuclear Emergency Preparedness (60 分)
- ・ Non-communicable Diseases in Humanitarian Settings (2 時間)
- ・ 8 Steps for Hygiene Promotion in Emergencies (30 分)
- ・ Menstrual Hygiene Management (5 分)
- ・ Community Engagement and Accountability in disaster and crisis (20 分)

注: 現在 IFRC learning platform ソフトウェア更新中でアクセスできないセッションもあります。

- ・ Community-Based Health and First Aid (CBHFA) eModule 2: Volunteer Action (80 分)
- ・ Community-Based Health and First Aid (CBHFA) eModule 3: Facilitation (60 分)
- ・ Community-Based Health and First Aid (CBHFA) eModule 4: Implementation (60 分)
- ・ Project/Programme Planning (PPP) Guidance manual
- ・ Community Based surveillance guiding principles

11. 申込み・問い合わせ

別紙様式により、2022 年 6 月 19 24 日 (金) までに、病院国際医療救援部 担当者山田 (kokusaikyuen@nagoya2.jrc.or.jp) あて電子メールにて送付すること。

【研修プログラム】

時間	所要	内容	担当
09:00－09:10	10 分	オープニングリマーク 自己紹介	
09:10－09:40	30 分	講義：コミュニティヘルスとは 災害時の保健医療／コミュニティレベルの役割	
09:40－10:40	60 分	講義：情報収集とアセスメント	
10:40－10:45	5 分	休憩	
10:45－11:30	45 分	シナリオ説明 グループワーク：情報収集、アセスメント グループ発表（1 グループ）	
11:30－12:30	60 分	講義：計画立案、災害時の公衆衛生・地域参加型の 保健活動 Concept paper, Project proposal, Logframe, Plan of Action, 予算について	
12:30－13:15	45 分	昼食	
13:15－13:55	40 分	グループワーク：Logframe グループ発表（1 グループ）	
13:55－14:35	40 分	グループワーク：Plan of Action グループ発表（1 グループ）	
14:35－15:35	60 分	講義：Information, Education and Communication (IEC) material の活用（CBHFA, PHAST など）	
15:35－15:40	5 分	休憩	
15:40－16:40	60 分	講義：モニタリング・評価	
16:40－17:00	20 分	振り返り、アンケート記入 クロージングリマーク	